



学校の様子・風景

7月8日(金)

上岩出小学校の学校生活の様子をお知らせします。

◆7月4日(月)の朝の読書の時間に、上小の2年生の保護者の方が、貸してくれた絵本を全校のお友達に読み聞かせをしました。季節毎に届けてくれる『ニュース和歌山小学校新聞』夏号の2面に「優しさのバトン、絵本に」という見出しがありました。目が見えない男性と和太附属小学校児童の物語です。記事の最後に、「目の不自由な人はたくさんいて、お手伝いするのは特別ではなく、当たり前のことです。絵本を通していろんな人が知り、自分もやってみようかなと思う人が増えることを願っています。」と、ありました。自分の身近な所から、優しさを広がったらいいなと思いました。



◆7月5日(火)は、学校訪問でした。県の教育委員会、岩出市教育委員会の先生方が来て下さいました。上岩出小学校の学校の様子を見て頂きました。来校された先生方に自分から「おはようございます。」「こんにちは。」と、元気にあいさつをしてくれるお友達がいました。気持ちよいあいさつで、お客様を迎えることができる上小の子は、素晴らしいですね。

いろいろなクラスでの授業を観て頂きました。



◆中庭のアサガオもきれいに咲きそろっています。1年生も2年生も自分の育てている花、トマトの観察から1日が始まります。廊下には、七夕の飾りをしている学年もありました。短冊には、お友達のいろいろな願い事が書かれてありました。

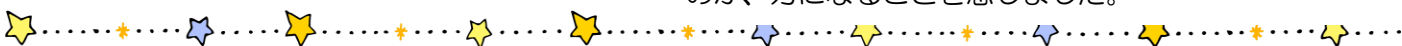




◆4年生の音楽の授業では、『風のメロディー』を「曲のとくちょうをいかしながら、スカーフを使って歌い方をくふうしよう。」というめあてで頑張っていました。お友達から、「〇〇君の使い方が上手だよ。」と、推薦されたお友達。曲の強いところでは、スカーフをカー杯に振り、曲の強弱を表していました。



◆どの学年も、しっかりと発表をするお友達の方に身体を向けて聴けているところがすごいなと思いました。また、グループで、お友達と話し合うときもお友達のことを分かって、知ろうという態度が育ってきているように感じました。自分と違う意見をしっかりと受け入れるって大切ですが、難しいですね。でも、毎日の授業で繰り返し、繰り返し行うことが、力になることを感じました。

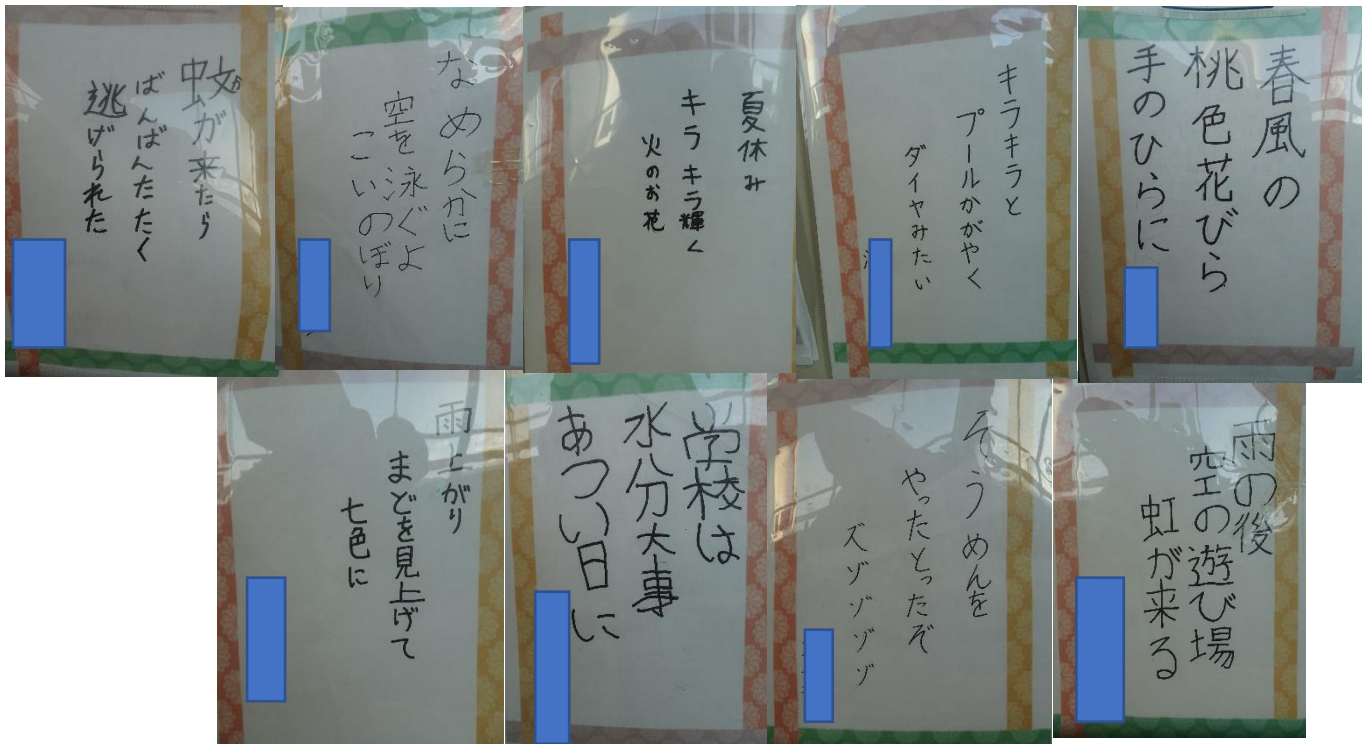


5年1組の俳句の授業です。

◆5年1組のお友達が、自分の感じたことや、発見したこと等、伝えたい思いを五、七、五の17文字で表現することを一生懸命に頑張ってくれました。17文字の中に季語を入れる等の俳句の作り方を基に、より自分の思いが伝わるように工夫をしていました。



◆分からない言葉は、すかさず辞書で調べるところは、去年までの学習の積み重ね、学習の習慣です。自分の感動を工夫して表現した俳句は、どれも力作でした。皆さんの顔は、45分間頑張ったという満足な顔ばかりでした。



◆その後の研究協議では、参観した先生たちで上小の研究主題に沿った授業の視点で話し合いが行われました。「一人一人の思いを大切にしながら、その思いをどのように授業の中で繋げていくか、また、その学習活動が、これからの一人一人の学習に広がるように」等、これからの上小の授業の方向性を先生方で確認できました。翌日の教室の黒板には、先生からの温かいメッセージが書かれてありました。



◆7月7日(木)の給食では、「ハッピーにんじん」が入っていました。各教室で、ハッピーにんじんが入っていたお友達、よかったですね。残念ながら、私は、入っていませんでした。今週は、岩出市の給食センターから、栄養士の井上先生が、来て下さり岩出市で取れた「朝取りトウモロコシ」の紹介もしてくださいました。

7月8日(金)には、育友会の役員会が開かれました。6月に行った「上小スポーツの日2022」の反省や今後の活動予定について話し合いました。

皆さん、いつも上岩出小学校の子どもたちのためにいろいろな意見を出し合って、前向きに話し合ってくださいます。この日も、宿題をそれぞれ持って解散しました。

7月5日(火)には、地域の方や関係機関の方々に児童の登下校の見守りをして頂きました。いつも、いろいろなところで子どもたちが楽しく安全に学校生活を送ることができるように支援してくださっていることに深く感謝いたします。

7月に入り、第7波と言われる新型コロナウイルスの感染が急速に広がっています。暑い毎日ですが、学校でも感染症対策と熱中症対策を両立して行ってまいります。各ご家庭でも、ご家庭でできる感染症対策と熱中症対策のご理解、ご協力をお願い致します。



